

2025年3月期 決算説明補助資料

株式会社サクシード

(東証グロース：9256)

2025年3月期 業績サマリ

前期比 売上高7.5%増 セグメント利益10.1%増 当期純利益16.4%増

セグメント		2024年3月期	2025年3月期	前期比 (金額)	前期比 (率)
個別指導	売上高	1,231.9	1,337.5	+105.6	+8.6%
	営業利益	260.7	319.5	+58.7	+22.5%
家庭教師	売上高	505.5	513.3	+7.7	+1.5%
	営業利益	49.6	26.2	▲23.4	▲47.2%
教育人材	売上高	1,057.0	1,138.2	+81.2	+7.7%
	営業利益	141.9	173.8	+31.8	+22.5%
福祉人材	売上高	433.4	480.6	+47.2	+10.9%
	営業利益	87.8	75.7	▲12.1	▲13.8%
セグメント合計	売上高	3,227.9	3,469.8	+241.8	+7.5%
	営業利益	540.2	595.2	+55.0	+10.1%
全社費用		▲207.9	▲214.6	▲6.6	-
通期営業利益		332.2	380.6	+48.4	+14.6%
当期純利益		223.3	259.9	+36.6	+16.4%

(単位：百万円) 小数点二位以下切り捨て

売上高8.6%増 セグメント利益22.5%増

セグメント		2024年3月期	2025年3月期	前期比 (金額)	前期比 (率)
個別指導	売上高	1,231.9	1,337.5	+105.6	+8.6%
	営業利益	260.7	319.5	+58.7	+22.5%

(単位：百万円) 小数点二位以下切り捨て

個別指導教室事業トピックス

- ・ 個別指導学院サクシード3校舎（千葉県2校 東京都1校）を新規開校
- ・ 新規校舎の入塾者数が増加し売上高増
- ・ 広告戦略の見直しが奏功し営業利益増

売上高1.5%増 セグメント利益47.2%減

セグメント		2024年3月期	2025年3月期	前期比 (金額)	前期比 (率)
家庭教師	売上高	505.5	513.3	+7.7	+1.5%
	営業利益	49.6	26.2	▲23.4	▲47.2%

(単位：百万円) 小数点二位以下切り捨て

家庭教師紹介事業トピックス

- ・ プロモーション強化により新規入会件数が増加
- ・ 内部管理体制強化のための人的投資の増加により人件費増
- ・ プロモーション費用および講師募集費用が増加

売上高7.7%増 セグメント利益22.5%増

セグメント		2024年3月期	2025年3月期	前期比 (金額)	前期比 (率)
教育人材	売上高	1,057.0	1,138.2	+81.2	+7.7%
	営業利益	141.9	173.8	+31.8	+22.5%

(単位：百万円) 小数点二位以下切り捨て

教育人材サービス事業トピックス

- ・ 地方自治体向けサービスの受注が増加
- ・ 人手不足を背景に学習塾向け人材サービスの売上が増加
- ・ サービス拡大に向け人員を強化した事により人件費が増加

売上高10.9%増 セグメント利益13.8%減

セグメント		2024年3月期	2025年3月期	前期比 (金額)	前期比 (率)
福祉人材	売上高	433.4	480.6	+47.2	+10.9%
	営業利益	87.8	75.7	▲12.1	▲13.8%

(単位：百万円) 小数点二位以下切り捨て

福祉人材サービス事業トピックス

- ・ 学童施設向けおよび放課後等デイサービス向け人材サービスの売上が順調に推移
- ・ 学校向け学校介助員派遣サービスの売上が増加
- ・ 新規登録者獲得のための募集費が増加

2026年3月期 会社予想

売上高15.4%増 セグメント利益6.9%減 営業利益16.3%減

セグメント		2025年3月期	2026年3月期	前期比 (金額)	前期比 (率)
個別指導	売上高	1,337.5	1,548.9	+211.3	+15.7%
	営業利益	319.5	307.9	▲11.5	▲3.6%
家庭教師	売上高	513.3	540.2	+26.9	+5.2%
	営業利益	26.2	21.5	▲4.6	▲17.9%
教育人材	売上高	1,138.2	1,335.6	+197.3	+17.3%
	営業利益	173.8	159.8	▲13.9	▲8.0%
福祉人材	売上高	480.6	579.6	+99.0	+20.6%
	営業利益	75.7	65.0	▲10.6	▲14.1%
セグメント合計	売上高	3,469.8	4,004.4	+534.6	+15.4%
	営業利益	595.2	554.4	▲40.8	▲6.9%
全社費用		▲214.6	▲235.9	▲21.3	-
通期営業利益		380.6	318.4	▲62.1	▲16.3%

(単位：百万円) 小数点二位以下切り捨て

将来へ向けての投資を加速させる

2026年3月期につきましては、前述の通り増収減益予想としております。

旺盛な需要を取り込むことを背景に売上高は引き続き堅調に推移するものと見込んでいます。

一方で今後の成長を加速させるための投資を積極的に行う計画です。

全事業部において優秀な人材の確保・育成のため、人への投資を強化し人件費が増加します。

また、個別指導教室の積極的な出店、新たな地方への拠点の開設を進めるための費用も増加する計画です。

なお、シナジーの見込める案件に対して積極的にM&Aの検討を進める方針です。

自社ブランドサービス 今後の見通し

個別指導教室部門

- ・ 神奈川県以外の地域への出店を積極的に継続し新たなドミナントエリアを形成
- ・ WEBページのSEO対策を進め新規顧客の流入を強化
- ・ 生徒数増により増収も新規出店費用増のため営業利益減

家庭教師紹介部門

- ・ 首都圏および関西圏に加え新たなエリアに対面型サービスを拡充
- ・ 広告宣伝投資の効率化
- ・ サービス拡大に対応するため人員を増員

外部向け人材サービス 今後の見通し

教育人材サービス部門

- ・ 部活動指導員サービスが拡大
- ・ 外国人労働者の増加を背景に日本語教育サービスが拡大
- ・ 自治体向け学習支援サービスが拡大
- ・ サービス拡大に対応するため人員を増員

福祉人材サービス部門

- ・ 学校介助員等自治体向け人材派遣サービスが拡大
- ・ 放課後等デイサービス向け人材紹介が拡大
- ・ サービス拡大に対応するため人員を増員

株式会社みがくを子会社化

当社は2025年4月に教育特化の生成AI活用プラットフォーム「スクールAI」を持つスタートアップ企業である株式会社みがくを子会社化いたしました。

現在教員の長時間労働問題が社会課題となっており、その負担軽減のため外部人材の活用やDXの推進が進められています。

また先日発表された文部科学省のガイドラインにおいても、学習の質向上のため教育現場で生成AIを活用していく方針が示されました。

生成AIが教育現場で活用される機会が今後大幅に増えていくものと予想しており、当社はその後押しをするとともに、成長を取り込む狙いです。

株式会社みがくについて

代表者：代表取締役 佐藤雄太

設立：2021年

事業内容：教育サービス開発、教育機関へのコンサルティング・研修、教育メディア事業

受賞歴

- ・2021年 日本Eラーニング大賞「オンライン学習管理 特別部門賞」
- ・2021年 Asia EdTech Summit「Gold賞（金賞）」
- ・2023年 日本Eラーニング大賞「経済産業大臣賞」
- ・2023年 Asia EdTech Summit「Silver賞（銀賞）」
- ・2023年 文部科学省 Scheem-D Pitch and Conference 2023「～生成AIと教育～」採択
- ・2023年 経済産業省 EdTechイノベーター支援プログラム採択
- ・2023年 Google Cloud Startup Program採択
- ・2024年 京都府 産学公連携・子育て支援プロジェクト採択
- ・2024年 経済産業省 働き方改革支援補助金採択
- ・2024年 Microsoft for Startups Founders Hub採択
- ・2024年 授業イノベーションコンテスト（EIC Tokyo2024）「最優秀賞」

共同研究

- ・2023年～ 東京学芸大学 鈴木直樹准教授 生成AI活用による授業振り返りシステムの開発と検証
- ・2023年～ 東北学院大学 稲垣忠教授 生成AIを用いたPBLシミュレーターのログと評価の分析
- ・2023年～ 玉川大学 濱田英毅教授 旺文社のデータに基づき歴史上の人物と対話ができる生成AIアプリ「歴史人物シミュレーター」の実証研究
- ・2024年～ 札幌国際大学 安井政樹准教授 教育現場における生成AI活用に関する共同研究
- ・2024年～ 中部大学 樋口万太郎准教授 教員向け研修パッケージ及び算数授業設計支援AIコンテンツの開発

ディスクレイマー

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社サクシード（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2025 年4 月30 日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資をおこなう際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

なお、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。